

## CDI からのご案内 中高等部図書館日本セクション 2017 年 9 月

中、高等部の皆さま、ご入学、ご進級 おめでとうございます。

CDI では、次々と新刊図書をご紹介していく予定です。是非 秋の夜長に向けて お気に入りの本を見つけてください。CDI は 9 月 18 日より 貸し出し開始予定となっております。

一時帰国時に CDI の購入図書持ち帰りのご協力を戴きました皆様に 感謝申し上げます。

			
<p style="text-align: center;"><b>ハードボイルド・エッグ</b> 荻原 浩</p> <p>中学の頃にフィリップ・マローウのようなクールな探偵になることを心に決め、とうとう脱サラして事務所を開いた私。だが、来る依頼は動物の捜索ばかり。おまけにとんでもない婆さんを秘書に雇うはめになり…。</p>	<p style="text-align: center;"><b>出世花</b> 高田 郁</p> <p>数奇な運命を背負いながらも、自らが決めた道の上をただ一心に、強く生きる少女の成長を描いた感動作！</p>	<p style="text-align: center;"><b>新釈 走れメロス</b> 森見登美彦</p> <p>あの名作が京都の街によみがえる!? 「真の友情」を示すため、古都を全力で逃走する 21 世紀の大学生(メロス)「走れメロス」。誰もが一度は読んでいた名篇を、全く新しく生まれかわらせた、日本一愉快な短編集。</p>	<p style="text-align: center;"><b>銀翼のイカロス</b> 池井戸 潤</p> <p>半沢直樹シリーズ第 4 弾、今度の相手は巨大権力! 頭取命令で経営再建中の帝国航空を任された半沢は、500 億円もの債権放棄を求める再生タスクフォースと激突する。プライドを賭け戦う半沢に勝ち目はあるのか?</p>
			
<p style="text-align: center;"><b>サラバ! 上</b> 西加奈子</p> <p>1977 年 5 月、坏歩は、イランで生まれた。父の海外赴任先だ。チャーミングな母、変わり者の姉も一緒だった。イラン革命のあと、しばらく大阪に住んだ彼は小学生になり、今度はエジプトへ向かう。</p> <p>2014 年直木賞受賞作品</p>	<p style="text-align: center;"><b>サラバ! 下</b> 西加奈子</p> <p>父の出家。母の再婚。サトラココモンサマ解体後、世間の耳目を集めてしまった姉の問題行動。大人になった歩にも、異変は起こり続けた。甘え、嫉妬、狡猾さと自己愛の檻に囚われていた彼は、心のなかで叫んだ。お前は、いったい、誰なんだ。</p>	<p style="text-align: center;"><b>みんないってしまう</b> 山本文</p> <p>大人になるにつれ、時間はだんだん早くなる。そんな時、大切な何かを失ってはいないだろうか? 例えばそれは恋、信頼、友情だったり…。そうして残されるのは自分だけ。喪失を越え、人はたったひとりの本当の自分に出会う。</p>	<p style="text-align: center;"><b>あん</b> ドリアン助川</p> <p>どら焼き店の求人を見てやってきた徳江という高齢の女性。彼女が「あん」づくりに託した人生とは? 深い余韻が残る現代の名作。壮絶な人生を経てきた徳江が、未来ある者たちに伝えようとした「生きる意味」。</p>

			
<p style="text-align: center;"><b>疫病神</b> 黒川博行</p> <p>建設コンサルタント・二宮啓之の生業は、建設現場でのヤクザ絡みのトラブル処理。借金に苦しむ生活の中、産業廃棄物処理場をめぐる高額の依頼に飛びつくが…建設会社、市議会議員、極道と巨額の利権に群がる悪党たちを相手に、ふたりは事件の真相に。高校生向け</p>	<p style="text-align: center;"><b>悪果</b> 黒川博行</p> <p>かつてなくリアルに描かれる捜査の実態と、癒着、横領、隠蔽、暴力…黒川博行のハードボイルドがここに結実！警察小説の最高傑作！高校生向け</p>	<p style="text-align: center;"><b>神去なあなあ日常</b> 三浦しをん</p> <p>高校卒業と同時に三重県の山村に放り込まれた平野勇氣 19 歳。林業の現場に生きる人々の 1 年間のドラマと勇氣の成長を描く。</p>	<p style="text-align: center;"><b>他人の顔</b> 安部公房</p> <p>液体空気の爆発で受けた顔面の蛭のようなケロイド瘢痕によって自分の顔を喪失してしまった男。失われた妻の愛をとりもどすために他人の顔をプラスチック製の仮面に仕立てて、妻を誘惑する男の自己回復のあがき、不安定さ、あいまいさを描く。</p>
			
<p style="text-align: center;"><b>鴨川ホルモー</b> 万城目学</p> <p>このごろ都にはやるもの 勧誘、貧乏、一目ぼれ、謎の部活動「ホルモー」に誘われるイカキョー学生たちの恋と成長を描く超級エンタテインメント!!</p>	<p style="text-align: center;"><b>カンガルー・ノート</b> 安部公房</p> <p>突然くかいわれ大根が脛に生えてきた男を載せて、自走ベッドが辿り着く先はいかなる場所か——。現代文学の巨星、最後の長編。</p>	<p style="text-align: center;"><b>ざんねんないきもの辞典</b> 今泉忠明</p> <p>生き物の「ざんねん」な一面に光をあてた、はじめての本。「紫外線をあびると光る」サソリや、「敵におそわれると死んだふりをする」オポッサムなど、ふしぎな生き物を 122 種紹介。笑えて、ちょっとためになる。生き物たちのおどろきの真実。</p>	<p style="text-align: center;"><b>森は呼んでいる</b> 及川和男</p> <p>ぼくの家は、岩手県の室根村の山の中で、養魚場をやっています。まぼろしの魚といわれるイワナと、ヤマメという魚をそだてているのです。いま、川の上流の森が切られています。山も川も荒れてきて、カジカや天然のイワナ、ヤマメはいなくなりました。中学生向け</p>

			
<p><b>グラスホッパー</b> 井坂幸太郎</p> <p>復讐を横取りされた。元教師の鈴木は、妻を殺した男が車に轢かれる瞬間を目撃する。どうやら「押し屋」と呼ばれる殺し屋の仕業らしい。鈴木は正体を探るため、彼の後を追う。疾走感溢れる筆致で綴られた、分類不能の「殺し屋」小説。</p>	<p><b>嫌われる勇気</b> 岸見一郎・古賀史健</p> <p>【対人関係の悩み、人生の悩みを100%消し去る “勇気、の対話篇”】「トラウマ」の存在を否定したうえで、「人間の悩みは、すべて対人関係の悩みである」と断言し、対人関係を改善していくための具体的な方策を提示していくアドラー心理学。</p>	<p><b>ボトルネック</b> 米澤穂信</p> <p>亡くなった恋人を追悼するため東尋坊を訪れていたぼくは断崖から墜落したはずだった。ところが気がつくと、見慣れた金沢の街にいる。不可解な思いで自宅へ戻ったぼくを迎えたのは、見知らぬ「姉」。もしやここでは、ぼくは「生まれなかった」人間なのか。</p>	<p><b>羊と鋼の森</b> 宮下奈都</p> <p>言葉で伝えきれないなら、音で表せるようになればいい。ピアノの調律に魅せられた一人の青年。彼が調律師として、人として成長する姿を温かく静謐な筆致で綴った、祝福に満ちた長編小説。</p> <p>2016年本屋大賞受賞作品</p>
			
<p><b>64 上</b> 横山秀夫</p> <p>元刑事で一人娘が失踪中のD県警広報官・三上義信。記者クラブと匿名問題で揉める中、県警史上最悪の翔子ちゃん誘拐殺人事件への警察庁長官視察が決定するが……ミステリー界を席卷した著者の渾身作。</p>	<p><b>64 下</b> 横山秀夫</p> <p>長官視察の本当の目的を知り、己の真を問われる三上。そして視察前日、D県警をさらに揺るがす事件が……。驚愕、怒涛の展開、感涙の結末。ミステリーベスト二冠、究極の警察小説。</p>		